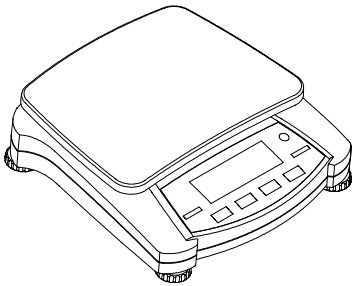
OH-95A

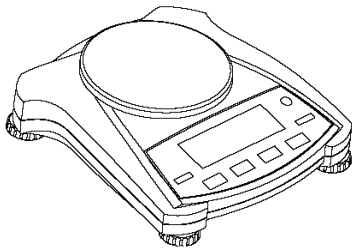
オーハウス　コンパクト電子天びん

ナビゲーターシリーズ

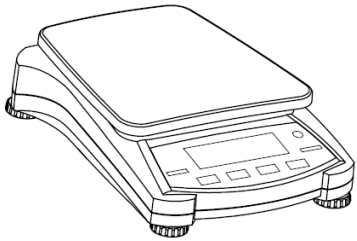
取扱説明書



NVT シリーズ



NV シリーズ



NVL シリーズ

1. はじめに

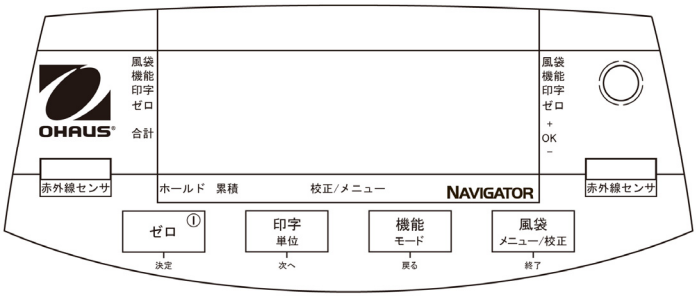
この取扱説明書では、ナビゲーターシリーズの設置、操作、メンテナンス方法を説明します。天びんをご使用になる前に、この説明書を最後までお読みください。

1.1 安全上の注意

以下の安全上の注意に従ってください。

- AC アダプタの入力電圧が、 AC 電源と一致していることを確認してください。
- 天びんは、必ず乾燥した環境で使用してください。
- 天びんに適さない環境で、天びんを操作しないでください。
- サンプルを計量皿に落下させないでください。
- 弊社技術サービス以外で本体を分解等することは避けてください。

1.2. コントロール



ボタン	機能
ゼロ **①** **決定**	短く押す（オンの場合）: 表示部をゼロに設定します。 （オフの場合）: 天びんをオンにします。 長く押す（オンの場合）: 天びんをオフにします。 短く押す（メニューの場合）: 表示されている設定を選択/受け入れます。
印字 **単位** **次へ**	短く押す: 操作の詳細はインターフェイス説明書を参照してください。 長く押す: 表示単位を切り替えます。 短く押す（メニューの場合）: 使用可能な設定を切り替えます。
機能 **モード** **戻る**	短く押す: 機能設定を選択します。 長く押す: アクティブにするアプリケーションモードを選択します。 短く押す（メニューの場合）: 前の設定に戻ります。
風袋 **メニュー** **終了**	短く押す: 風袋値を入力/消去します。 長く押す: ユーザーメニューに入ります。 短く押す（メニューの場合）: ユーザーメニューを即座に終了します。
赤外線 **センサ-左** **赤外線** **センサ-右**	赤外線センサは、プログラミングすると「タッチレス」ボタンとして操作できます。使用可能な設定については、ユーザーメニューセクション4.3を参照してください。

赤外線センサは、センサボタンの約 12mm 上部に手（またはそれ以外の物）をかざすことにより、動作させることができます。センサを動作させるための距離は、かざす物によって変わることがあります。本センサが、設置環境その他の要因により感度が高すぎる場合には、検出感度を low に設定する、または設定をオフにすることができます。

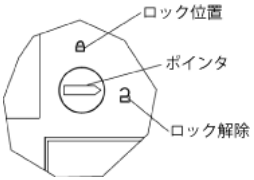
2. 取り付け

2.1 パッケージの内容

- 天びん
- 計量皿
- 電源用アダプタ
- 取扱説明書
- 保証書

2.2 輸送用ロック

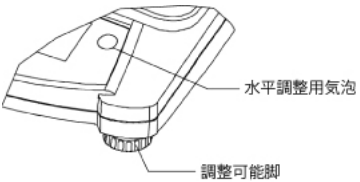
輸送用ロックは天びんの下部にあります。ポインタをロック解除位置まで回します。

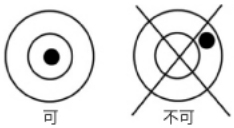


2.3 設置場所

天びんは、堅固で安定した場所で使用します。強い空気の流れや振動、熱源、急激な温度変化のある場所は避けてください。

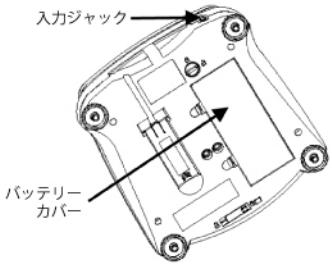
水平調整脚を調節して、気泡が円の中心にくるようにします。



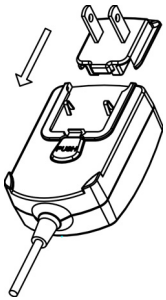


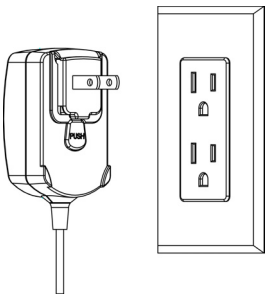
2.4 電源

バッテリーを使用する必要がない場合は、AC アダプタを使用して天びんに電力を供給します。



AC アダプタプラグを
入力ジャックに接続します。





AC アダプタを適切な AC 電源
に接続します。

バッテリーの取り付け（オプションの内蔵バッテリーがない場合）:

バッテリーカバーを外し、バッテリー室に示された極の向きに従って 4 本の乾電池を取り付けます。

オプションの充電式バッテリー:

オプションの充電式バッテリーを備えた天びんを使用する場合は、最初に操作する前に、12 時間充電する必要があります。バッテリーは過充電から保護されているため、天びんは AC 電源に接続したままにすることができます。バッテリーの充電が完了すると、表示部のバッテリーインジケータが点滅しなくなります。

オプションの充電式バッテリーを取り除いて単 2 電池を取り付けるには、充電式バッテリーオプション取扱説明書で手順を確認し、廃棄方法も参照してください。

注意:充電式バッテリーを異なるタイプに交換したり不適切な接続を行うと、爆発の危険性があります。

2.5 初期校正

天びんを設置したら、正確な結果を得るためにまず最初に校正を行う必要があります。

[**mMeNU**]（メニュー）が表示されるまで、**メニュー**ボタンを押し続けます。ボタンを離すと、表示部には [**.C.A.L.**] と表示されます。**決定**ボタンを押して受け入れると、[**SpaN**] と表示されます。もう一度**決定**ボタンを押して、スパン校正を開始します。ゼロ読み取り値を保存する間、[**--C--**] が点滅します。次に、表示部には校正分銅値が表示されます。計量皿に所定の校正質量を載せます。読み取り値を保存する間、[**--C--**] が点滅します。天びんは元のアプリケーションモードに戻り、使用可能になります。

必要なスパン校正質量（別売）			
ひょう量	**質量**	**ひょう量**	**質量**
210g	200g	3,100g – 4,100g	2kg
310g - 510g	300g	5,100g	3kg
1,100g	500g	6,400g - 10kg	5kg
1,600g – 2,100g	1kg	16kg - 20kg	10kg

3. 操作

計量モード以外のモードは、使用する前にユーザーメニューでアクティブにしておく必要があります。セクション 4 を参照してください。

3.1 計量モード

1. [**wJeIGH**]（計量）が表示されるまで、**モード**ボタンを押し続けます。
2. 必要な場合は、空の容器を計量皿に載せ、**風袋**ボタンを押します。
3. 計量物を容器に入れます。表示部に計量物の重量が表示されます。

3.2 個数計量モード

このモードでは、基準個数の重量に基づいて、大量のアイテムの個数を数えます。

1. 空の容器を計量皿に載せ、**風袋**ボタンを押します。
2. [**Count**]（個数計量）が表示されるまで、**モード**ボタンを押し続けます。[**CLr.APU**]（サンプル平均重量の消去）が表示されます。
3. 保存されている APW を使用するには、**次へ**ボタンを押して、手順 6 へ進みます。
4. APW を設定するには**決定**ボタンを押します。[**Put 10**] のように、保存されたサンプルサイズが表示されます。**次へ**ボタンまたは**戻る**ボタンを押すと、選択肢（5、10、20、50、100）が切り替わります。
5. 表示された個数を計量皿に載せ、**決定**ボタンを押して APW を計算します。表示部には、個数が表示されます。

   注: 現在の APW を表示するには、**機能**ボタンを押します。
6. 必要な個数に達するまで、アイテムを追加していきます。
7. 保存されている APW を消去するには、[**Count**] が表示されるまで**モード**ボタンを押し続けます。**[Clr.APU]** と表示されたら、**決定**ボタンを押します。

3.3 パーセントモード

このモードでは、基準重量に対するパーセント比率でサンプルの重量を計量します。

1. 空の容器を計量皿に載せ、**風袋**ボタンを押します。
2. [**Percnt**] が表示されるまで、**モード**ボタンを押し続けます。**[Clr.ref]**（基準の消去）が表示されます。
3. 保存された基準重量を使用するには**次へ**ボタンを押し、手順 6 に進みます。
4. 新しい基準を設定するには**決定**ボタンを押します。天びんに **[Put.ref]** と表示されます。
5. 必要な基準計量物を容器に入れます。**決定**ボタンを押して、基準重量を保存します。表示部には 100% と表示されます。

   注: 現在の基準重量を表示するには、**機能**ボタンを押します。
6. 基準重量物を取り除き、サンプル計量物を載せます。表示部には、基準重量と比較したサンプルのパーセント比率が表示されます。
7. 保存されている基準を消去するには、[**Percnt**] が表示されるまで**モード**ボタンを押し続けます。**[Clr.ref]** と表示されたら、**決定**ボタンを押します。

3.4 表示値ホールドモード

安定重量の最高値が保持されるので、比較が容易になるモードです。

1. [**Hold**] が表示されるまで、**モード**ボタンを押し続けます。
2. 計量するサンプルを、計量皿に載せます。安定重量の最高値を検出すると、天びんの「ホールド」インジケータが点滅し、表示された重量が変化しなくなります。
3. 保持された重量値を解除するには、**機能**ボタンを押します。

3.5 加算合計モード

このモードを使用すると、一連の計量の合計を保存することができます。インターフェイスオプションを使用すれば、コンポーネント重量と合計重量を伝送することができます。

1. [**ACCUmM**]（累積）が表示されるまで、**モード**ボタンを押し続けます。
   [Clr.Acc]（累積の消去）が表示されます。
2. **決定**ボタンを押して保存された値を消去するか、**次へ**ボタンを押して、保存された合計にさらに追加します。
3. 必要な場合は、空の容器を計量皿に載せ、**風袋**ボタンを押します。
4. 最初のアイテムを載せると、その重量が表示されます。**機能**ボタンを押して重量を保存します。「累積」インジケータが点滅し、表示部には合計重量が表示されます。
5. 最初のアイテムを取り除き、次のアイテムを載せます。天びんにはその重量が表示されます。**機能**ボタンを押してその重量を保存します。「累積」インジケータが点滅し、新しい合計重量が表示されます。
6. 追加するすべてのアイテムについて、手順 5 を繰り返します。
   注: 表示部にゼロが表示されている時に**機能**ボタンを押すと、現在のサンプル合計数および合計重量が表示されます。
7. 保存されている合計を消去するには、[**ACCUmM**] が表示されるまで**モード**ボタンを押し続けます。**[Clr.Acc]** と表示されたら、**決定**ボタンを押します。

3.6 チェック計量モード

このモードでは、重量の上限および下限を設定して、重量制限プロセスを可能にします。

1. [**CHeCk**]（チェック）が表示されるまで、**モード**ボタンを押し続けます。
   [**CLr.ref**]（基準の消去）が表示されます。
2. 保存された基準重量限度を使用するには**次へ**ボタンを押し、手順 5 に進みます。
   基準重量上限および下限を表示するには、**機能**ボタンを押します。
3. 新しい基準値を設定するには**決定**ボタンを押します。天びんに [**Set. Lo**] と表示されます。**決定**ボタンを押すと、下限値が表示されます。**決定**ボタンを押して下限値を設定するか、**次へ**ボタンを押して下限値を編集します。保存された値は、[**000.000** kg] のように最初の桁がハイライト表示されて表示されます。設定したい数字が表示されるまで、**次へ**ボタンを繰り返し押します。**決定**ボタンを押して設定すると、次の桁がハイライト表示されます。すべての桁を設定するまで、これを繰り返します。**決定**ボタンを押して下限値を設定すると、[**Set. Hi**] と表示されます。
4. 同じ手順を繰り返して、上限値を設定するか、または編集します。
5. サンプル計量物を計量皿に載せます。「OK」インジケータにより、サンプル重量が許容範囲内であることがわかります。
6. 保存されている基準値を消去するには、[**CHeCk**] が表示されるまで**モード**ボタンを押し続けます。**[Clr.ref]** と表示されたら、**決定**ボタンを押します。

4. 設定

ユーザーメニューを使用すると、天びんの設定をカスタマイズできます。

注: インターフェイスオプションをインストールしている場合は、追加のサブメニューも使用できます。追加の設定情報については、インターフェイス取扱説明書を参照してください。

4.1 メニュー

ユーザーメニュー:

サブメニュー:	**.C.a.l.**	**.S.e.t.u.p.**	**.M.o.d.e.**	**.U.n.i.t.**	**.E.n.d.**
メニュー項目	Span Lin End	A-off Disply Bright IR.LEFT IR.RGHT End	Count Percnt Hold Accum Check End	g, kg End	

[**mMeNU**]（メニュー）が表示されるまで、**メニュー**ボタンを押し続けます。ボタンを離すと、最初のサブメニュー [**.C.a.l.**]（校正）が表示されます。

決定ボタンを押して表示されたサブメニューに入るか、**次へ**ボタンを押して次のメニューに進みます。

サブメニューを選択すると、最初のメニュー項目が表示されます。**決定**ボタンを押してメニュー項目設定を表示するか、**次へ**ボタンを押して次のメニュー項目に移動します。設定が表示されている時に**決定**ボタンを押すと設定が確定し、**次へ**ボタンを押すと設定を変更できます。[**End**] と表示されている時に**決定**ボタンを押すとサブメニュー選択に戻り、**次へ**ボタンを押すと現在のメニューの最初のメニュー項目に戻ります。

4.2 校正サブメニュー（Cal）

- スパン [**SpaN**]（Yes、no） - スパン校正手順（ゼロおよびスパン）を開始します。天びんを最初に設定する時は、スパン校正が重要です。
- 直線性 [**Lin**]（Yes、no） - 直線性校正手順（ゼロ点、ひょう量の 1/2、およびひょう量）を開始します。

4.3 サブメニューの設定

（赤色）LED 表示部には、機能によって異なるメニュー項目または設定があります。

- 自動オフ [**A-Off**]（on、off） - 自動オフが ON に設定されていると、天びんは 5 分間動きがない場合自動的にオフになります。自動オフを使用すると、バッテリーを節約できます。
- 表示部 [**disply**]（on、auto、dim (LED)） - この設定により、LED の桁を制御します。常時オン、天びんに 5 秒間動きがない場合自動オフ、天びんに 60 秒間動きがない場合 LED を薄暗くします。
- 輝度 [**Bright**]（hi、mid、low） - この設定では、LED 表示の輝度を制御します。
- 赤外線センサ左 [**Ir.LEFt**]/右 [**Ir.rght**]（Off、Tare、Function、Print、Zero、Display） - この設定により、赤外線センサの役割が決まります。Zero、Print、Function、または Tare と設定すると、赤外線センサはそれぞれ関連するボタンと同じように動作します。Display- Auto に設定されている場合、Display に設定すると表示部がアクティブになります。Off に設定すると、センサが無効になります。

4.4 モードメニュー（Mode）

このサブメニューによりモードがアクティブになり、**モード**ボタンを押して使用できるようになります。計量モードは常にアクティブです。

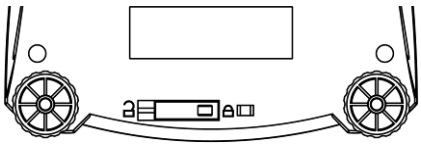
- 個数計量 [**Count**]（on、off） - On に設定すると、このモードがアクティブになります。
- パーセント [**Percnt**]（on、off） - On に設定すると、このモードがアクティブになります。
- 保持 [**Hold**]（on、off） - On に設定すると、このモードがアクティブになります。
- 累積 [**ACCUmM**]（on、off） - On に設定すると、このモードがアクティブになります。
- チェック計量 [**CHECk**]（on、off） - On に設定すると、このモードがアクティブになります。

4.5 単位メニュー（Unit）

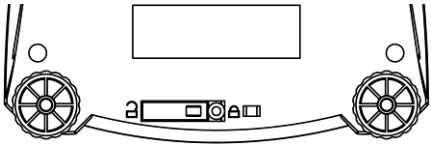
このサブメニューにより単位がアクティブになり、**単位**ボタンを押すと使用できるようになります。単位をアクティブにするには、メニューの中で単位を On にする必要があります。

4.6 天びんの設定変更の制限

メニューロックスイッチにより、校正・設定・モード・単位のサブメニューの変更を制限することができます。ロックスイッチを保護するには、紙、ワイヤ、プラスチック製のシールなどで封印します。



ロック



アンロック

5. メンテナンス

5.1 トラブルシューティング

次の表に、一般的な問題とその考えられる原因、および修復方法を示します。

問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社サービスセンターにご連絡ください。

現象	考えられる原因	修復方法
オンにならない	電源が通じていない	接続および電圧を確認してください。
精度不良	校正が不適切 環境が不安定	校正を実行してください。 天びんを適切な場所に移動してください。
校正できない	環境が不安定 校正分銅が正しくない	天びんを適切な場所に移動してください。 正しい校正分銅を使用してください。
モードにアクセスできない	モードが有効になっていない	メニューに入ってモードを有効にしてください。
単位にアクセスできない	単位が有効になっていない	メニューに入って単位を有効にしてください。
Lo ref	基準重量が低すぎる	基準重量を増加してください。
ref err	個数計量 – サンプル重量が 1d より小さい	エラー表示 – モードを終了するか、[Clr.ApU] に進んでください。
Err 3.0 Cal	校正分銅が正しくない	セクション 2.5 を参照して正しい分銅を確認してください。
Err 4.4 full	RS232 バッファがフル	ハンドシェイクをオンにしてください。インターフェイス取扱説明書を参照してください。
Err 8.1 -Load-	電源オン時のゼロ範囲を超過している	計量皿を空にしてください。梱包ロック設定を確認してください。
Err 8.2 _Load_	電源オン時のゼロ範囲を下回っている	計量皿を取り付けてください。梱包ロック設定を確認してください。
Err 8.3 -Load-	重量超過	計量物が、天びんの最大ひょう量を超過しています。
Err 8.4 _Load_	重量不足	読み取り値が最少範囲を下回っています。 計量皿を再度取り付けてください。
Err 8.6 999999	表示された値 > 999999	結果が表示可能桁数を超過しています。
Err 9 Data	内部データエラー	修理依頼してください。
Err 13 mMEmM	EEPROM の書き込みに失敗	修理依頼してください。
Err 53 CSumM	チェックサムデータが無効	修理依頼してください。

5.2 サービス情報

トラブルシューティングで解決しないまたは表記されていない問題については、お買い求め頂いた代理店または弊社サービスまでお問い合わせください。

5.3 アクセサリ

充電式バッテリーキット	83032106（NVL, NVT）
RS232 インターフェイスキット	83032107（NV, NVL, NVT）
USB インターフェイスキット	83032108（NV, NVL, NVT）
イーサネットインターフェイスキット	83032109（NV, NVL, NVT）
表示部保護カバー	83032223（NV）, 83032222（NVL） 83032221（NVT）
キャリングケース	83032226（NV）, 83032225（NVL） 83032224（NVT）
プリンタおよびケーブル	（お問い合わせください）

6. 技術データ

技術データは、下記の周辺環境に適用されます。
室温: 10°C～ 40°C、認可モデル（M）0°C ～ 40°C
相対湿度: 相対湿度 20% ～ 85%、結露なきこと
標高: 4,000 メートルまで
操作性: 室温 0°C ～ 40°C を前提とします。
電源: AC アダプタ – 12VDC 420mA 出力、単 2 電池 4 本または充電式バッテリー
保護: ほこりや水から保護
汚染レベル: 2
設置カテゴリ: Class III
EMC: 適合宣言を参照してください。

6.1 仕様

標準仕様:

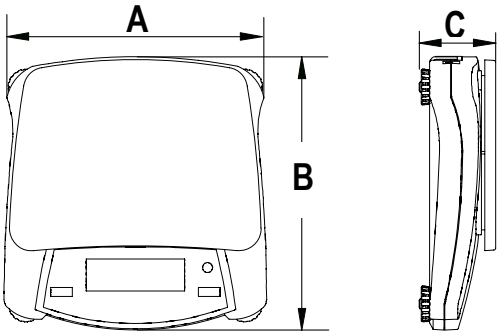
安定時間	1 秒以内
風袋範囲	全ひょう量範囲
アプリケーションモード	計量、パーセント、個数計量、チェック計量、加算合計、 表示値ホールド
計量単位	g、kg
AC 電源	AC アダプタ（付属） - 12 VDC または 12 VAC、420 mA
バッテリー電源	**NV：**単 3 電池（LR6）4 本　**NVL、NVT：**単 2 電池（LR14）4 本 （別売り）または充電式バッテリー(オプション)
校正	外部分銅によるキャリブレーション
LED 表示部	6 桁 7 セグメント LED
表示部サイズ	20 mm / 桁
キーパッド	4 つのオーバーレイボタンと 2 つのプログラム可能赤外線センサ
保護等級	IP43 （**NVL、NVT** のみ）
計量皿サイズ （W x D）	**NV：**190nm x138mm　**NV212：**Ø 120mm **NVL：**194mm x 203mm　**NVT：**230 mm x 174 mm
正味重量 [1]	**NV：**0.9kg　**NVL：**1.5kg　**NVT：**1.5kg
梱包時重量 [1]	**NV：**1.4kg　**NVL：**2.3kg　**NVT：**2.3kg

注 1: /3 モデルは 0.5kg プラスになります。

モデル[1]	ひょう量	最小表示	繰り返し性	直線性	スパン校正分銅	直線性校正分銅
NV212	210g	0.01g	1d	±2d	200g	100g、200g
NV511	510g	0.1g	1d	±2d	300g	300g、500g
NV1101	1,100g	0.1g	1d	±2d	500g	500g、1kg
NV2101	2,100g	0.1g	1d	±2d	1kg	1kg、2kg
NV4101	4,100g	0.2g	1d	±2d	2kg	2kg、4kg
NV5101	5,100g	0.5g	1d	±2d	3kg	3kg、5kg
NVL511	510g	0.1g	1d	±2d	300g	300g、500g
NVL1101	1,100g	0.1g	1d	±2d	500g	500g、1kg
NVL2101	2,100g	0.1g	1d	±2d	1kg	1kg、2kg
NVL5101	5,100g	0.5g	1d	±2d	3kg	3kg、5kg
NVL10000	10,000g	1g	1d	±2d	5kg	5kg、10kg
NVL20000	20,000g	1g	1d	±2d	10kg	10kg、20kg
NVT1601	1,600g	0.1g	1d	±2d	1kg	1kg、1.5kg
NVT3201	3,200g	0.2g	1d	±2d	2kg	2kg、3kg
NVT6401	6,400g	0.5g	1d	±2d	5kg	3kg、6kg
NVT10001	10,000g	0.5g	1d	±2d	5kg	5kg、10kg
NVT16000	16,000g	1g	1d	±2d	10kg	10kg、15kg

注 1: /2 = LED 表示部
/3 = LED 表示部と工場出荷時設置済み充電式バッテリーオプション

6.2 図



	A	B	C
NV	204 mm	212 mm	58 mm
NVL	204 mm	282 mm	74 mm
NVT	240 mm	250 mm	74 mm

6.3 コンプライアンス

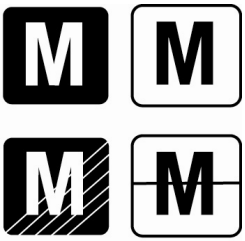
以下のマークが製品にある場合、製品は対応する基準に準拠しています。

マーク	基準
CE	この製品は、EMC 指令 2004/108/EC、低電圧指令 2006/95/EC、および非自動重量機器（Non-automatic Weighing Instruments）指令 2009/23/EEC に準拠しています。適合宣言全文は、オーハウス コーポレーションに用意されています。
C-Tick	AS/NZS4251.1 エミッション、AS/NZS4252.1 イミュニティ

EC 排出覚書:

このデバイスは、EN55011/CISPR 11 Class B Group 1 に準拠しています。

検証済み計量機器に関する重要な注意



メーカーで検証済みの計量機器には、前記のマークのいずれかが梱包ラベルに記載され、緑の「M」（計測）ステッカーが説明プレートに貼付されています。このような機器は、すぐにご使用いただけます。

2 段階で検査が必要な計量機器には、緑の「M」（計測）が説明プレートに貼付されておらず、前記の識別マークのいずれかが梱包ラベルに記載されています。初期検証の第 2 段階は、EC 内の権限が与えられた代表者の認可されたサービス組織、あるいは国家認証機関により実施されなければなりません。

初期検証の第 1 段階は、メーカー側で実施されています。採用された欧州基準 EN 45501:1992、パラグラフ 8.2.2 に従ってすべてのテストが行われています。
国内規制により検査の有効期間が決められている場合、計量機器のユーザーは再検証の時期を厳密に守り、該当する度量衡担当機関に通知しなければなりません。

廃棄

廃電気・電子機器廃棄物（WEEE）に関する欧州指令 2002/96 に従って、このデバイスは一般廃棄物として廃棄してはいけません。EU 以外の国でも同様で、各国ごとの要件に従います。
電池指令 2006/66/EC により、2008 年 9 月から、EU 加盟国では廃棄機器からのバッテリー取り外しに関する新たな要件が導入されています。この指令に準拠するため、耐用年数の過ぎたデバイスのバッテリーは廃棄物処理施設により安全に取り外せるように設計されています。

この製品は、指定された電気・電子機器の収集場所における地域の規制に従って廃棄してください。疑問点は、担当する機関、あるいはこの機器の購入元にお問い合わせください。
この機器を、個人使用であれ業務用であれ他の関係者に譲渡した場合、この規制の内容も製品に付随します。
欧州での廃棄方法については、www.ohaus.com/weee を参照してください。
環境保護へのご協力をお願いいたします。

FCC 覚書

この機器はテストにより、FCC 規格 Part15 に従って Class B デジタルデバイスとしての規制に準拠していることが証明されています。これらの規制は、機器を業務で使用した場合に有害な妨害から適切に保護するために設計されています。この機器では、無線周波エネルギーが生成され、使用され、放出されるため、取扱説明書に従って設置および使用されなかった場合、無線通信に有害な妨害を及ぼすことがあります。居住地域でこの機器を使用すると、有害な妨害の原因になることがあります。その場合、ユーザーは自費でこれを修正しなければなりません。

Industry Canada について

この Class B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

ISO 9001 登録

1994 年、米国のオーハウス コーポレーションは、Bureau Veritus Quality International（BVQI）により、ISO 9001 として認証されました。これはオーハウスの品質管理システムが ISO 9001 基準要件を満たしていることを確認するものです。2003 年 5 月 15 日、米国オーハウス コーポレーションは ISO 9001:2000 基準に再度認証されました。

保証について

オーハウス製品は、受け渡し日から保障期間の間、部品ならびに製品上の欠陥と思われる不具合に対し保証しております。そのような不具合が発生した場合はには弊社代理店または弊社サービスセンターへご返却ください。内容を確認の上、弊社サービスにて無償修理、部品交換を速やかに行います。当保証は、事故、取扱の不備、故意の腐食物質への抵触などの原因による製品の故障、または本体内部への異物の混入や弊社サービス以外で行われた分解、修理による損害につきましては一切の適用はありません。製品ご購入後は保証書に必要事項をご記入のうえ、速やかにご返送ください。納入日より製品保証の期間が設定されます。オーハウス コーポレーションは、本製品の故障に伴う損害については責任を負いません。

オーハウス コーポレーション

お問い合わせはカスタマーサポートセンターへ
TEL: 03-5815-5515　FAX: 03-5815-5525

〒110-0008
東京都台東区池之端2-9-7　池之端日殖ビル6F
（メトラー・トレド（株）内）

83032370

P/N 83032370A ©2010 Ohaus Corporation

www.ohaus.com　　**NVT_IM-JP_20110106**